

## 令和4年度学校運営連絡協議会実施報告書

### 1 組織

- (1) 都立神代高等学校 学校運営連絡協議会（定時制課程）
- (2) 事務局の構成 主幹教諭(教務主任兼務)=事務局長、教務部員1名 計2名
- (3) 内部委員の構成  
校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭(教務担当・進路兼務)、主幹教諭(生活指導担当・保健兼務)、計5名
- (4) 協議委員の構成（氏名の掲載も可）  
PTA会長、近隣中学校長、近隣自治会長、警察署生活安全課長 計4名

### 2 令和4年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～4回）の開催日時、出席者、内容、その他
  - 第1回 令和4年6月28日（火）内部委員5名、協議委員4名  
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出  
学校経営計画、昨年度の学校運営連絡協議会の課題  
本校の現状と課題等説明、意見交換
  - 第2回 令和4年11月24日（木）内部委員5名、協議委員4名  
授業公開、これまでの教育活動に関する報告  
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議
  - 第3回 令和5年3月13日（月）内部委員5名、協議委員4名  
学校評価の報告及び学校運営に関する提言、協議  
次年度に向けた方向性の確認
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
  - 第1回 令和4年6月28日（火）内部委員3名、協議委員3名  
学校評価の基本方針の確認、昨年度の学校評価結果の分析・考察  
今年度の学校評価の実施に向けた検討
  - 第2回 令和4年11月24日（木）内部委員3名、協議委員3名  
今年度の学校評価の観点・項目、内容の検討、実施時期の検討  
アンケート項目確認
  - 第3回 令和5年3月13日（月）内部委員3名、協議委員3名  
アンケート集計・分析・評価、評価報告書（原案）の検討

### 3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点  
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
  - ・12月 保護者全員 対象：30人 回収：5人 回収率：16.6%
  - ・12月 教職員 対象：8人 回収：7人 回収率：87.5%
- (3) 主な評価項目
  - ・※学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、健康・安全、施設・設備などの評価項目を、学校実態に合わせて適宜設定する。
- (4) 評価結果の概要（校長や学校全般への意見・提言内容）
  - ・生徒はおおむね本校の教員の授業について満足している。
  - ・生活指導は、保護者から40%の支持率を得ている。生徒からは86%の支持を得ている。
  - ・暴力、いじめを許さない方針は浸透しており、生徒90%、教員100%、保護者100%であった。
- (5) 評価結果の分析・考察（校長や学校全般への意見・提言）
  - ・自由記述から生徒が身に付けたい力についての回答を得られ、教員の指導へのヒントが得られた。

### 4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

- (1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果
  - ・保護者の回答数が少なかったことから、保護者向けの広報活動、教育活動への理解を促す必要があることが認識できた。
  - また開かれた学校づくりとして、通信の発行やSNSの活用など、保護者や外部に向けた発信の工夫が必要であることが分かった。

- (2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題
  - ・地域の人材活用を一層推進するなど、地域との連携を拡大・充実が必要である。
  - ・より適正な評価を行うためには、協議委員に対して、もっと情報提供すべきである。
- 5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）
  - (1) 学校運営
    - ・生徒・保護者に対して、機会あるたびに学校の教育方針を説明し理解と協力を得る。
    - ・生活指導については、今まで以上に保護者との連携を強化する。
    - ・学期ごとに校内研修会を実施する。
  - (2) 学習指導
    - ・ICTを最大限活用した授業の工夫を行う。
    - ・生徒一人一人の実態に応じた個別指導の充実を図る。
  - (3) 特別活動
    - ・生徒が主体となって企画・運営し、達成感や自己有用感を高められるよう工夫、指導をする。
  - (4) 生活指導
    - ・授業規律を大切に「マナー9か条」の周知徹底を図り、社会人としての基礎を築く。
  - (5) 進路指導
    - ・一年次からの継続的・計画的なキャリア教育により、生徒一人一人が進路実現できるようにする。
  - (6) 健康・安全
    - ・給食の意義を周知し、喫食率を上げる。

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

- (1) 協議委員人数 5人
- (2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
	2	2				

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 0回 企画調整会議 0回

【成果】 なし

8 その他

- ・保護者のアンケート回収率を更に高めるため、質問内容を含め検討の必要がある。
- ・評価精度の更なる向上のため、学校公開の機会を増やしていく。